



被災者本人が、静かに語る被災当日の「その時」。そして怪我と戦いながら思うこと…実際の経験者から発する警鐘は、何事にも代えがたい教訓として、すべての視聴者の心にしみる。

インタビューと回想で綴る 重機との接触

重機のキャタピラーに片足を轢かれる。「見えていると思ってた」重機の死角。もし、安全靴を履いていなかったら？



インタビューと回想で綴る 高所から墜落

屋根で断熱材を張る作業中、丸のこの歯を調整しようとしてベランダに墜落。「安全帯を使っていれば、軽症で済んでいた」



労働災害を経験した被災者の生の声を通して、被災者でなければ分からない労働災害の「その時」そして、それから…を、再現映像を織り交ぜながら、視聴者に労働災害の重みを実感させます。そしてその結果、労働災害防止へと心を動かし、明日からの作業を変えさせます。

視聴対象者 管理・監督者 事業者 現場従事者

制作指導 労働局登録教習機関 住建センター

二人の労働体験者が伝える

あの時、なぜ…

墜落・重機災害発生瞬間

ふたり
二人の労働体験者が伝える

あの時、なぜ…

と き
墜落・重機災害発生瞬間



制作：株式会社 プラネックス

〒130-0022 東京都墨田区江東橋2-14-7 錦糸町サンライズビル5F

TEL03-5638-3122 FAX03-5638-3130

E-mail info@planex00.com

URL <http://www.planex00.com/>

24分